

ジャンボトリバ淡路島に産す

ジャンボトリバ *Agdistopsis sinhala* (Fletcher) は、井上(1975)によって日本にも分布することが明らかにされた大型で翅が羽状に分岐しない特異なトリバガで、高知県室戸岬、宮崎県都井岬、屋久島高盤山・愛子岳などが国内での既知産地として知られている。

やや古いデータではあるが、筆者は淡路島から本種を採集しているので記録しておきたい。
洲本市相川，1♂，6. 1X. 1975

尚，標本は筆者が保管している。

(登日邦明)

編集後記

- ▽ 予定より大幅に遅れてしまいましたが、15周年記念号をお届けします。貴重な原稿をお寄せ下された奥谷禎一先生はじめ会員諸兄に厚くお礼申し上げます。
- ▽ 高校生の虫屋集団から出発した本会も、早や15周年を迎えました。研究対象を淡路島の昆虫に限定した本会が今日まで活動を続けて来られたのは、会員諸兄の協力の賜物であると思っております。今後共ご支援の程よろしくお願い致します。
- ▽ 島の自然は今後、本四架橋や縦貫道の開通に伴ない、より一層大きなダメージを受けようとしています。従来からの基礎調査の充実に加え、破壊によるフォナの変遷等も記録しておきたいものです。
- ▽ 会員諸兄の研究の発展とご活躍を期待します。(T)

PARNASSIUS No. 26

1982年4月8日 印刷 1982年4月14日 発行

編集者 登日邦明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登日方

郵便振替 神戸 49591

印刷所 れいめい社

〒656 洲本市本町5丁目1-24